

2018 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [新潟市立亀田西小学校] 担当教諭 [小日向真理子・若林健一・生田裕也] (6年生 93名)
 相手国・地域 [台湾]
 海外学校名 [Beitou Elementary School] 担当教諭名 [Chen Hsin Dai]

■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
	総合的な学習の時間	郷 the world～世界はふるさとでできている～	35
	国語	町の幸福論	6
	外国語	自己紹介・地域紹介をしよう	10
	図画工作	ふるさとをわく灯籠に・ふるさとを壁画に	8
	社会	未来に生きるわたし	2
	学級活動	世界の未来と日本の役割	2

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	すべてにありがとう～未来につなぐ 愛・出会い・自然～
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	私たちは、愛は創造の最大の力だと信じている。私たちは文化的伝統を愛し、それを保存し、次の世代に物語として伝えたい。私たちは、この文化交流で異文化を学ぶことから、優しさや敬意を持って人々と仲良くなることを学んだ。私達を育ててくれる故郷の自然もまた、過去の愛やつながりが創造してくれた大切なもの。全てにありがとうという気持ちを壁画に込めて、発信したい。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・スカイプでは、国を越え、まるで一つの空間にいるような協働的な学びが実現した。他国の生徒との対話を通して、世界に視野が広がっていく実感が見られた。 ・よい壁画を創りたいという目的意識に加え、交流校の子供たちの気持ちを汲もうとする相手意識の高まりにも驚いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の担任制度(台湾は教科担任制)が違うため、スケジュールの調整の上で配慮が必要だった。 ・日本(新潟)は、情報機器の使用規制が多く、スカイプの設置に手間取った。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・外国語をコミュニケーションツールとして、積極的に使おうとする主体性が一番大きな成果である。 ・世界に発信するメッセージを考えることが、自分たちが生きる未来を考えることに、いつの間にかつながった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化の違う相手とのコミュニケーションツールとして、英語が不可欠であることが改めて分かり、外国語の指導意欲が高まった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	6月 7月	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介ビデオ作成に向け、1人1冊のスケッチブック(アートマイルブック)をもち、自己紹介と地域紹介を英文とイラストでまとめた。 地域にアートマイルボランティアを募り、グループに1人以上の先生をつけて、紹介文の発音練習に取り組んだ。 地元のイベント「わく灯籠祭り」に参加し、地元の人々のふるさとへの思いを調査したり、わく灯籠のデザイン画を考えたり、ステージ発表(学習のテーマ曲の学年合唱)をしたりして、町作りについて主体的に考えた。 	<ul style="list-style-type: none"> 伝える相手がいることで、外国語に消極的だった児童も含めたほぼ全員が、ビデオ作りに目的意識をもち、熱心に英訳や発音練習に取り組んだ。 ふるさを語るのに自分のふるさを知らなすぎることに気が付き、当事者意識をもって、自分の住む町や新潟、日本、自分を取り巻く世界を見つめ直す姿が見られた。 	総合 外国語 国語
共有 テーマ学習	9月 ～ 11月	<ul style="list-style-type: none"> 学年で3回、学級ごとに3回のテレビ会議を実施した。1組は文化、2組は産業、3組は自然と議題を分け、相手校にもグルーピングをお願いし、調べたことの情報交換をした。 作成した自己紹介ビデオや地域紹介ビデオを、事前に電子フォーラム(YouTube 活用)に上げて紹介内容を共有した。 交流校の台湾北投小からも、フィールドワークの様子や取り組みをまとめたファイルが届き、スムーズに情報交換することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 紹介内容を事前に共有することで、伝えっぱなしにならず、質問や感想もテレビ会議で言い合うことができた。 環境や考え方の類似点や相違点を見つけながら、お互いの国や地域のことを理解し合う活動を展開させることができた。 回数を重ねるごとに積極的にコミュニケーションを取ろうとする児童の姿が見られた。 	総合 国語
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	11月 12月	<ul style="list-style-type: none"> 壁画のテーマについては、まずは亀田西小の3クラスと北投小の学級それぞれで、クラス提案を考えた。その後、学年会議→テレビ会議へと会議を広げ、テーマを絞っていった。 	<ul style="list-style-type: none"> クラス提案がどれもすばらしく、また、互いに認め合う気持ちの向上により、西小の3クラスと北投小から提案された全てテーマを融合することになった。 	総合 外国語 学活
創造 壁画制作	12月	<ul style="list-style-type: none"> 壁画実行委員会を立ち上げ、下書きは実行委員会で担当した。 色塗りは、実行委員主体の呼びかけで、彩色の時間を分けて、全員が筆を入れることができるようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> 壁画制作を通して、遠く離れた台湾の教室と自分の教室がまるで一つにつながっているような一体感が子供たちの間に生まれた。 	総合 外国語 学活 図工
評価 振り返り 自己評価	2月 3月	<ul style="list-style-type: none"> 全校朝会で、全校児童に壁画完成の報告会をした。 お世話になったアートマイルボランティアさんを招いて、壁画完成披露の会を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 完成披露の前に、学年全員が「アートマイル活動で学んだこと」について振り返り作文を書いたが、どの児童も自己の成長を実感する達成感や満足感であふれた作文を書くことができた。 	図工 社会 総合

■アートマイルでつけた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つけたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	5	お互いの国の地域の良さや伝統を紹介し合う活動を通して、自国の文化に誇りを持つようになった。
異文化を理解する力	4	それぞれのふるさとに思いをはせたり、自分のルーツについて考えたりすることで、グローバルな視野で異文化を見つめる力が伸びた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	5	地元のイベント「わく灯籠祭り」に参加することで、地域の課題を自分事としてとらえることができるようになった。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	5	テレビ会議の回数を重ねるごとに積極的にコミュニケーションを取ろうとする児童の姿が見られた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	他国の文化を知ることで、人の考えの多様性を尊重する視点が生まれた。
主体的に考え行動する力	5	伝える相手がいることで、目的意識をもち、熱心に英訳や発音練習、調査活動に取り組む姿が見られた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	5	他国の友人から学び取ろうと主体的にかかわり、自分の考えを積極的に他者に表現してつながりをつくろうとする児童の姿が見られた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	創造的思考を働かせながら、壁画デザインを考えたり、壁画制作にかかわったりして、取組を実現させようと努力する児童の姿が見られた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	5	社会で求められている「決まった答えがない問題を多様な他者と対話的・協働的に解決する力」や「無から新しい価値を生み出す力」に関わることを児童が振り返りの作文にまとめていた。